

縄文のムラと人口



縄文のムラ。5000年前、塩野川原田遺跡。

現在、御代田町には1万4000人を超える人々が暮らしている。

では、はるか5000年のむかし、この町でどれだけの人々が住んでいたのだろうか。

発見された縄文のムラ跡から推定すると、せいぜい100人に満たない人々しか住んでいなかったものと考えられる。5000年の時をへて、御代田の人口は100倍以上に膨れあがったのである。

5000年前の日本列島の人口は、コンピュータシミュレーションによって26万人と算出されている。しかし今や日本には1億人以上の人々がひしめきあっているのである。

縄文時代の住居は竪穴式住居といって地面を掘りくぼめたもの。その広さ6畳ほど。もちろん家の中には電気も水道もない。また、お風呂やトイレもない。縄文人はムラはずれのゴミ捨て場でこそと用を足していたようだ。驚くことなかれ、縄文人はお風呂に入る風習もなかったようだ。



縄文の住居。
5000年前、塩野川原田遺跡。

企画展 日本人の起源をさぐる

■好評開催中！9月10日(日)まで ■浅間縄文ミュージアム 常設・企画展示室

御代田町の人口(8月1日現在)

●人口14,161人(先月比+29) 男7,104人女7,057人
●世帯数5,440世帯(先月比+13) ●外国人登録者数806人

みよた広報やまゆり ●発行/御代田町〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111